

愛媛大学の産学連携推進体制 (第四期中期計画に向けて)



愛媛大学産学連携推進センター

- オープンイノベーション推進部門
- リサーチファンド獲得支援部門
- 大学発ベンチャー支援部門



愛媛大学社会連携推進機構 副機構長
産学連携推進センター長
野村 信福

自己紹介:平成カラス型人力飛行機名鑑(Since 2003)



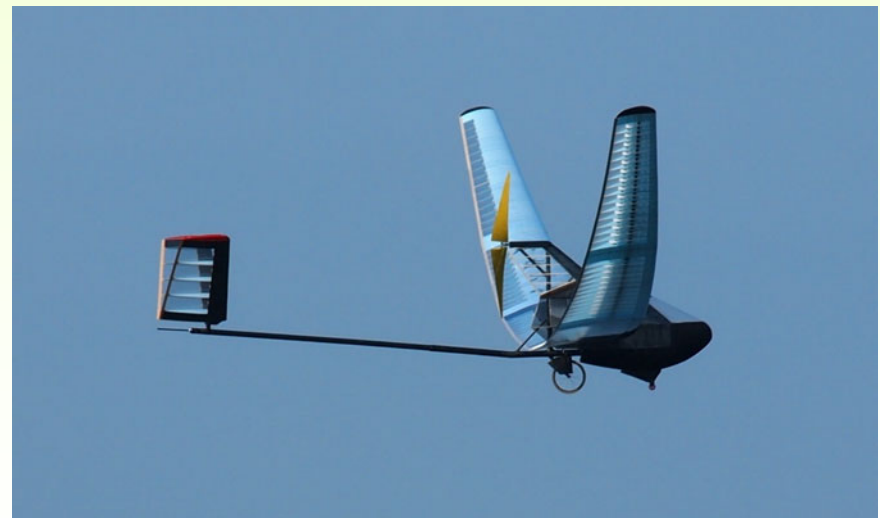
平成カラス1号(棄権)



平成カラス2号(棄権)



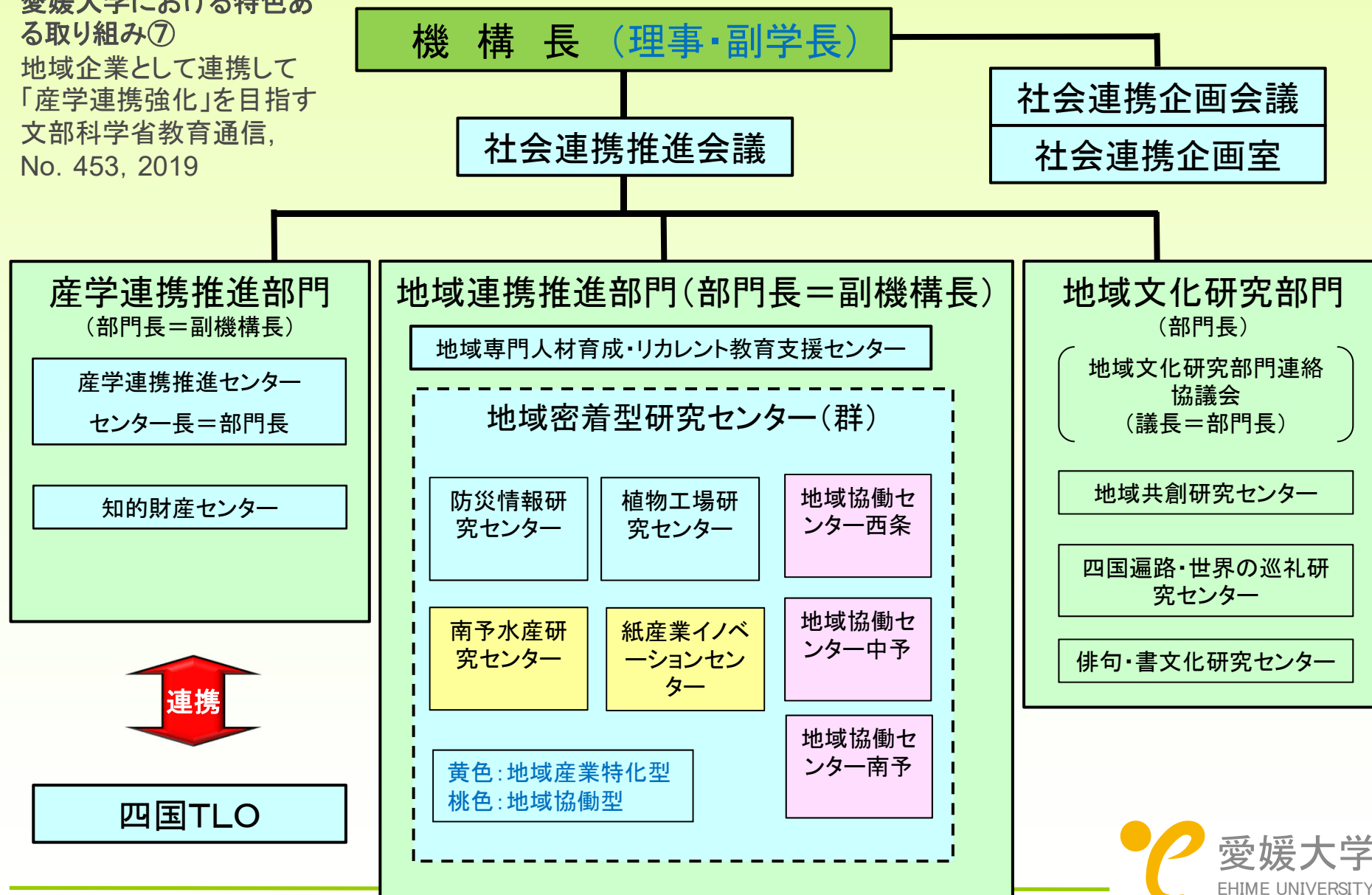
平成カラスType-R
(44.82m)



Hey☆Sayカラス号(769.71m)

社会連携推進機構 組織図 (2021年4月1日現在)

愛媛大学における特色ある取り組み⑦
地域企業として連携して「産学連携強化」を目指す
文部科学省教育通信,
No. 453, 2019



国立大学法人の予算

運営費交付金(86校): 1兆971億円(29年度実績)

愛媛大学の予算規模: 350億円

学生納付金: 16%~17%

附属病院: 35~40%

平成29年度(国立86大学)

第1位 東京大学.....819億円

第2位 京都大学.....539億円

第3位 東北大学.....460億円

第4位 大阪大学.....439億円

第5位 九州大学.....407億円

第6位 筑波大学.....405億円

第7位 北海道大学...354億円

第8位 名古屋大学...310億円

第9位 広島大学.....250億円

第10位 東工大.....213億円・

(ここまで、約40%)

・

・

・

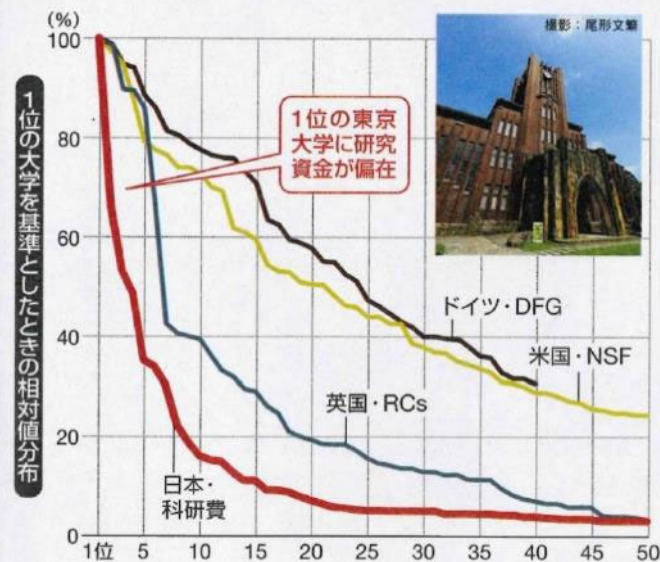
第23位 愛媛大学 126億円

中堅層の大学への支援が鍵！

週刊東洋経済2018.2.10号

5 トップ大学に資金が偏在

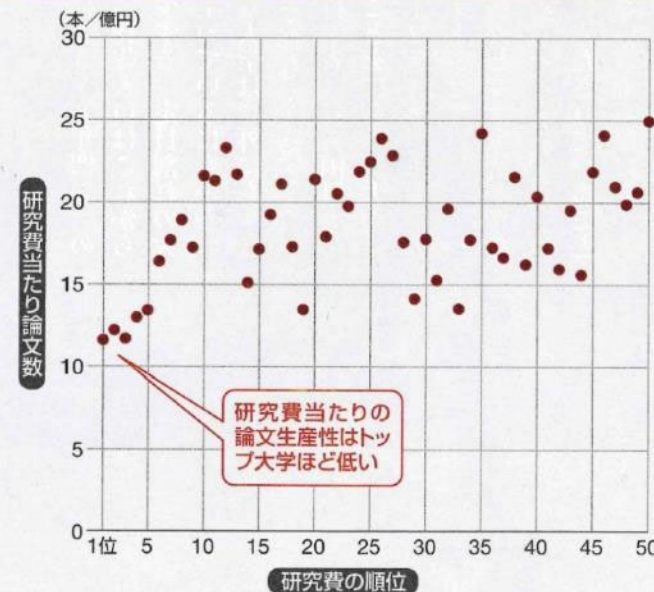
競争的資金配分の格差の国際比較



(注)ドイツはDFG(2012年)、米国はNSF(12年度)、英国はHE Finance Plus(12/13年)、日本は日本学術振興会(13年度)のデータによる
(出所)科学技術振興機構 研究開発戦略センター「我が国の研究費制度に関する基礎的・俯瞰的検討に向けて」(2014年)を基に本誌作成

6 集中しても効率は上がらず

国立大学における研究費と論文生産性



(注)論文数は2010~16年の年間平均、研究費は15年度
(出所)クラリベイト・アナリティクス、『大学四季報』(2017年)を基に本誌作成

資金の
「効率性」で
見た

研究力のある国立大学は？

週刊東洋経済

2018.2.10号

トップは埼玉大学、東大は下位

順位	大学名	研究費当たり 論文数 (年平均本数 / 億円)	論文数 (年平均本数)	順位	研究費 (億円)	順位	1人当たり 研究費 (万円)	教員数 (人)	学生数 (人)	教員 1人当たり 学生数(人)	科研費 採択率 (%)
1	埼玉大学	24.99	378 (45)		15.13 (54)		319.2	474	8,579	18.1	26.4
2	山口大学	24.24	674 (27)		27.81 (35)		292.4	951	10,269	10.8	22.4
3	島根大学	24.12	451 (38)		18.70 (48)		237.9	786	6,086	7.7	13.6
4	岐阜大学	23.93	828 (20)		34.60 (26)		470.7	735	7,296	9.9	18.6
5	岡山大学	23.34	1,672 (12)		71.60 (12)		479.6	1,493	13,143	8.8	26.9
6	富山大学	22.88	758 (25)		33.11 (27)		389.5	850	9,254	10.9	22.9
7	東京農工大学	22.50	799 (21)		35.52 (25)		843.7	421	5,706	13.6	25.9
8	愛媛大学	21.90	791 (22)		36.12 (24)		434.7	831	9,419	11.3	26.2
9	高知大学	21.89	457 (36)		20.88 (46)		310.3	673	5,469	8.1	18.0
10	千葉大学	21.73	1,552 (13)		71.43 (13)		524.1	1,363	14,163	10.4	32.4
11	広島大学	21.63	1,978 (10)		91.41 (10)		529.6	1,726	15,292	8.9	28.9
12	静岡大学	21.58	523 (32)		24.24 (38)		329.3	736	10,222	13.9	24.5
13	新潟大学	21.43	1,018 (17)		47.48 (20)		422.8	1,123	12,456	11.1	29.0
14	神戸大学	21.33	1,744 (11)		81.77 (11)		507.6	1,611	16,356	10.2	28.0
15	金沢大学	21.13	1,190 (14)		56.30 (17)		475.5	1,184	10,236	8.6	29.3
16	茨城大学	20.99	344 (47)		16.37 (50)		307.1	533	8,144	15.3	24.9
17	滋賀医科大学	20.66	329 (49)		15.94 (53)		447.8	356	1,153	3.2	28.8
18	鹿児島大学	20.56	782 (24)		38.04 (22)		329.9	1,153	10,541	9.1	23.4
19	佐賀大学	20.38	491 (34)		24.08 (40)		342.0	704	6,879	9.8	16.9
20	大分大学	19.92	324 (50)		16.25 (52)		272.2	597	5,693	9.5	27.9

地方の中堅大学が頑張っている

世界大学ランキング 2021

世界大学ランキング by タイムズ・ハイ
アー・エデュケーション(THE)からの抜粋

18項目に渡る様々な採点項目を、
膨大な資料をもとに各項目100満点
で採点、総合平均点の上位から順
位がつけられています。

指定国立大学

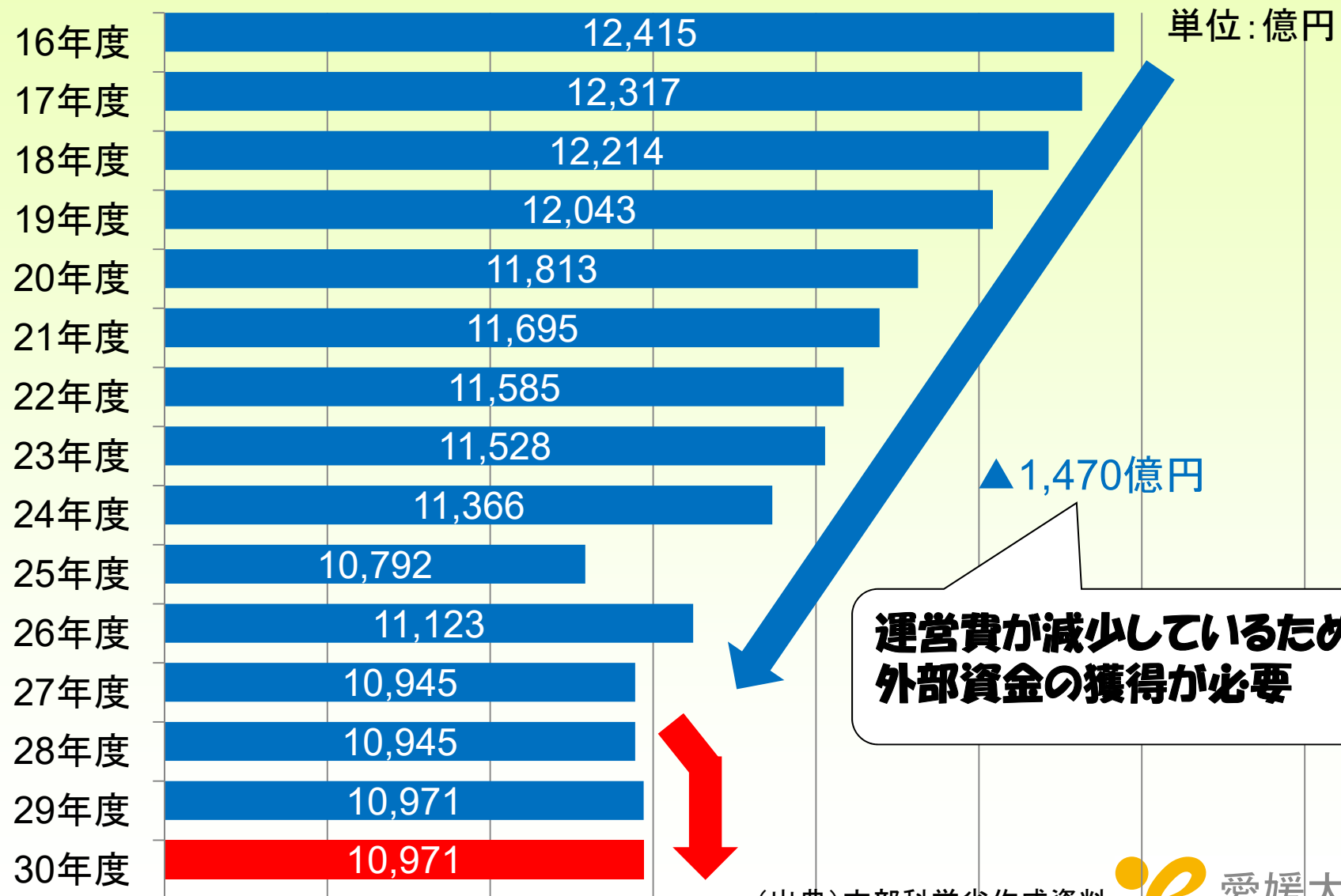
世界最高水準の教育研究活動の展開ができると、
その実力と潜在能力を認められた国立大学。
(2017～)

東北大、東京大、京都大、東京工業大、名古屋大、
大阪大、一橋大、筑波大、東京医科歯科大

1	オックスフォード大学	UK
2	スタンフォード大学	USA
3	ハーバード大学	USA
4	カリフォルニア工科大学	USA
5	マサチューセッツ工科大学	USA
6	ケンブリッジ大学	UK
7	カリフォルニア大学バークレー校	USA
8	イエール大学	USA
9	プリンストン大学	USA
10	シカゴ大学	USA
20	清華大学	中国
23	北京大学	中国
25	シンガポール国立大学(NUS)	シンガ ポール
36	東京大学	日本(3) *
54	京都大学	日本(2)
201-250	東北大学	〃 (1)
201-250	東北大学	〃 (1)
351-400	大阪大学	〃 (8)
601-800	広島大学	〃 (12)
1001+	愛媛大学	〃 (61)

* 右欄()は日本版THEランキング2020

国立大学法人運営費交付金等予算額の推移



(出典) 文部科学省作成資料

科学研究費補助金(令和2年度実績)

合計額で見た順位 (国立大学順位)	機関名	採択件数	合計(千円)
第1位	東京大学	4,202	22,549,534
第2位	京都大学	3,022	13,931,905
第3位	大阪大学	2,665	10,463,081
第4位	東北大学	2,525	9,747,075
第5位	名古屋大学	1,819	8,029,554
第6位	九州大学	1,943	7,058,611
第7位	北海道大学	1,719	6,099,686
第8位	東京工業大学	889	4,459,416
第9位	筑波大学	1,357	4,165,330
第10位	神戸大学	1,163	3,226,210
・			
・			
・			
第22位	愛媛大学	470	1,121,510

「令和2年度科学研究費助成事業の配分について」より

https://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/hojyo/1422129_00001.htm



愛媛大学
EHIME UNIVERSITY

○令和元年度科研費(補助金分・基金分)機関別採択件数・配分額一覧(配分額順)

【令和元年度分】(令和元年10月配分状況)

(金額単位:件, 人, 千円)

順位	国立 大学 順位	機関名	採択 件数	配分額 (直接+間接)	教員数	一人あたりの 採択件数		一人あたりの 配分額		順位 比較
							順位		順位	
1	1	東京大学	3,995	22,011,111	3,869	1.03	1	5,689	1	—
2	2	京都大学	2,898	12,875,655	3,410	0.85	4	3,776	4	—
3	3	大阪大学	2,591	10,885,776	3,271	0.79	8	3,328	6	—
4	4	東北大学	2,480	9,670,895	3,131	0.79	9	3,089	7	—
5	5	名古屋大学	1,796	8,214,674	2,337	0.77	11	3,515	5	—
6	6	九州大学	1,865	6,840,155	2,391	0.78	10	2,861	9	—
7	7	北海道大学	1,694	6,326,710	2,332	0.73	14	2,713	10	—
8		国立研究開発法人理化学研究所	847	4,958,590	3,017	0.28	34	1,644	20	↑
9	8	東京工業大学	876	4,438,429	1,054	0.83	5	4,211	3	↓
10	9	筑波大学	1,273	4,202,250	1,868	0.68	16	2,250	12	—
11		慶應義塾大学	1,110	3,300,050	2,622	0.42	31	1,259	29	—
12	10	神戸大学	1,144	3,202,940	1,542	0.74	13	2,077	14	—
13		早稲田大学	1,040	2,956,460	2,081	0.50	28	1,421	26	—
14	11	広島大学	1,135	2,645,591	1,732	0.66	17	1,527	23	—
15	12	千葉大学	830	2,345,070	1,309	0.63	18	1,791	19	—
16	13	岡山大学	912	2,342,275	1,466	0.62	19	1,598	21	↑
17	14	金沢大学	905	2,065,180	1,042	0.87	3	1,982	16	↓
18		国立研究開発法人産業技術総合研究所	641	2,037,100						
19	15	新潟大学	781	1,806,090						
20	16	熊本大学	696	1,799,070						
21	17	東京医科歯科大学	676	1,687,920						
22	18	徳島大学	541	1,371,110	967	0.56	25	1,418	27	↑
23		立命館大学	630	1,326,910	1,397	0.45	30	950	32	↑
24	19	長崎大学	625	1,320,150	1,154	0.54	27	1,144	30	↓
25		大阪府立大学	365	1,213,290	642	0.57	23	1,890	18	↑
26		東京理科大学	426	1,181,198	774	0.55	26	1,526	24	↑
27	20	愛媛大学	449	1,151,150	794	0.57	24	1,450	25	—
28		順天堂大学	528	1,136,200	1,695	0.31	33	670	35	↑
29		大阪市立大学	500	1,132,950	731	0.68	15	1,550	22	↑
30	21	横浜国立大学	332	1,121,510	578	0.57	21	1,940	17	↑
31	22	信州大学	588	1,118,260	1,034	0.57	22	1,081	31	↓

データで見る 愛媛大学科研費実績 (令和元年度実績)

令和元年度: 科研費配分額実績
愛媛大学は27位(国立大学順位20位)

一人あたりの採択件数: 0.57人(24位)
一人あたりの配分額: 1450千円(25位)

「令和元年度科学研究費助成事業の配分について」より
https://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/hojyo/1422129.htm

重複があるとは言え、愛媛大学では採択されないほうが、目立つと解釈できますね。

中四国国立大学の研究活動 (令和元年度実績)

	研究者数	科研採択件数(新規＋継続)	研究者一人当たり科研件数	配分額(千円)	研究者一人当たり配分額(千円)
鳥取大学	746	344	0.46	659,761	884
島根大学	854	322	0.37	540,480	633
岡山大学	1,768	927	0.52	2,361,015	1,335
広島大学	2,207	1,278	0.58	2,811,389	1,274
山口大学	997	474	0.48	928,310	931
徳島大学	1,090	560	0.51	1,327,496	1,218
香川大学	759	310	0.41	424,930	560
愛媛大学	995	461	0.46	1,157,145	1,163
高知大学	843	317	0.38	598,918	710

文部科学省「令和元年度大学等における産学連携等実施状況」より作成

特許権実施等収入、個別実績10位

No.	機関名	収入額(千円)	前年度順位
1	京都大学	676,397	2
2	東京大学	661,761	1
3	大阪大学	458,046	3
4	東北大学	131,355	10
5	三重大学	110,123	9
6	北海道大学	105,788	13
7	名古屋大学	100,652	4
8	東京医科歯科大学	89,280	-
9	東京工業大学	77,861	5
10	九州大学	76,781	8

愛媛大学 17位 29,545

文部科学省「令和元年度大学等における産学連携等実施状況」より作成

技術移転マインドがないと。。

■ 本学で扱う研究費等について

本学で取り扱う研究費は、運営費交付金はもとより、受託研究費、共同研究費、補助金及び寄附金などの外部からの獲得資金など、大学で管理しているすべての研究費を公的研究費等と総称しています。

公的研究費等については、その種類によりそれぞれ使用ルールが異なります。また、各事業ごとに定められたルールもあるので注意が必要です。

公的研究費等の種類		使用ルールの主なもの
外部資金	①受託研究 ②共同研究 ③受託事業 ④共同事業	・契約書(契約金額, 研究期間, 目的等) ・各事業のマニュアル(要項・使用ルール等) ・会計規則などの学内規定・ハンドブック
	⑤補助金	・補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律 ・各補助金のマニュアル(要項等) ・科研費ハンドブック(文部科学省, 日本学術振興会) ・会計規則などの学内規定・ハンドブック
	⑥寄附金 (財団等からの助成金を含む)	・寄附目的, 寄附条件 ・会計規則などの学内規定・ハンドブック
	⑦運営費交付金等 (学生納付金・附属病院収入等の自己収入を含む)	・会計規則などの学内規定・ハンドブック

■ 共同研究の研究費について

内 訳	説 明
直接経費	謝金, 旅費, 研究支援者等の人件費, 消耗品費, 光熱水料等の共同研究に直接必要な経費。(当該設備等の維持及び管理に必要な費用は大学が負担)
間接経費	研究環境の整備, 産学連携活動の推進の充実等の経費 ・直接経費の30%
共同研究員の受入れに伴う研究料	大学に共同研究員を受け入れた場合の必要経費 ・6ヶ月につき200,000円(消費税別)
企業等の負担額	・直接経費＋間接経費＋共同研究員の研究料※ (※共同研究員受け入れの場合のみ)

※間接経費が, 30%以外となる例

- ・高額機器等を使用する等の特別な事情がある場合は, 30%を超える額とすることができる。
- ・共同研究に係る原資が, 国であり, 間接経費が措置されていない場合
- ・競争的資金による研究費のうち, 間接経費が措置されていない場合

愛媛大学学術指導取扱規程

- (1) 指導料は, 依頼者と協議。
- (2) 学術指導推進経費は, 指導料の30%(いわゆる間接経費)

■問い合わせ窓口

事 項	担当窓口	連 絡 先	事 例 等
共同研究・受託研究等の契約手続き	社会連携課研究契約チーム	内線:8826	・共同・受託研究の申込書 ・契約締結手続き
寄附金の受け入れ手続き	社会連携課研究契約チーム ※医学部・附属病院に係る寄附金については、医学部研究協力課	内線:8516	・寄附申込書
研究費等への申請手続き	研究支援課研究企画・戦略チーム	内線:8961	・研究助成金等への応募
研究費の執行等	各部局予算担当	各部局総務チーム ※医学部は研究協力課	・物品購入 ・旅費, 謝金

県内企業との連携実績：共同研究

	件数	総額 (千円)	1件当たり金額 (千円)
<u>令和2年度</u>	<u>26</u>	<u>24,580</u>	<u>945</u>
大企業 〇円契約	2		
受入額有	4	8,648	2,162
中小企業 〇円契約	6		
受入額有	14	15,932	1,138
<u>平成31年度</u>	<u>47</u>	<u>33,603</u>	<u>715</u>
大企業 〇円契約	4		
受入額有	9	13,944	1,549
中小企業 〇円契約	9		
受入額有	25	19,659	786

民間企業ととりあえずやってみる！

県内企業との連携実績：受託研究、寄附金受入

※治験、基金を除く

受託研究	件数	総額 (千円)	1件当たり金額 (千円)
令和2年度	3	2,250	750
平成31年度	2	85	43

寄附金受入	件数	総額 (千円)	1件当たり金額 (千円)
令和2年度	22	17,662	803
平成31年度	25	15,492	620

大学との共同研究はお得？

学生1人のバイト代金

学部学生	$900\text{円} \times 4\text{時間} \times 120\text{日} = 432,000\text{円}$
大学院生博士前期	$1100\text{円} \times 4\text{時間} \times 120\text{日} = 528,000\text{円} \cdots (a)$
大学院生博士後期	$1300\text{円} \times 4\text{時間} \times 120\text{日} = 624,000\text{円}$

教員人件費

エフォート: 10%の場合 教員単価 $6000\text{円} \times 200\text{時間} = 120\text{万円} \cdots (b)$

間接経費30%で概算

共同研究費100万円の場合: $100 \times 1.3 = 130\text{万円}$

間接経費を考えてみよう

サポート人員経費
情報基盤経費
光熱水費
施設・設備使用料
減価償却費
知財出願管理費など

社会連携機構研究協力会

社会連携推進機構の実施する事業を支援し、産・学・官の連携協力を推進することにより、地域の科学技術の振興と地域経済の活性化に資することを目的として設立

地域社会

愛媛大学
社会連携推進機構
研究協力会

会長

顧問
愛媛県知事
松山市長
愛媛大学学長

総会

研究部会

令和3年8月現在
会員企業64社

会員企業からの会費で
運営

社会連携推進機構は、愛媛大学における多岐にわたる教育・研究の成果等を積極的に活用して社会連携活動を推進し、地域の発展に貢献することを目的に平成16年6月に設立

国立大学法人 愛媛大学

学長

役員会

社会連携推進機構

社会連携推進会議

社会連携企画会議

社会連携企画室

産学連携推進部門

産学連携
推進センター

知的財産
センター

産学連携推進部門

地域密着型センター

紙産業
イノベーション
センター

植物工場
研究センター

地域協働
センター西条

地域共創研
究センター

南予水産
研究センター

防災情報
研究センター

地域協働
センター南予

四国遍路・世
界の巡礼研
究センター

また、愛媛大学では、地域産業の特性に応じて、地域産業特化型研究センターを県内に配置。地域産業イノベーションを創出する機能を強化している。

企業等の技術者、開発担
当者と大学研究者等との
交流の場を提供
(えひめ5:30倶楽部)

産学連携スタートアップ
事業による資金を支援

産学官の
人事交流の促進

企業ニーズに
対応した研究
部会が活動

共同研究
研究協力 の推進

研究協力会 事業内容

研究部会

産業界の
技術向上への支援

講習会・セミナー等による
技術者教育

大学が行う技術研究
に関する相談窓口
大学研究者が行う技
術開発指導

産業界の技術者等の
能力向上を目的とした
高度技術研修、大学や
研究センターが企画実
施する講演会、講習会、
セミナー等の開催

地元企業のニーズをもとに11の研究部会を
設置(産学共創による課題解決策の検討)

- ① IoT利用技術検討部会
- ② 組込みシステム・人工知能・言語処理
検討部会
- ③ アーバンデザイン研究部会
- ④ 食品栄養・機能性研究部会
- ⑤ 福祉ロボティクス
- ⑥ 地域の問題を解決するロボティクス
- ⑦ 再生可能エネルギー利用研究部会
- ⑧ 廃炉措置研究部会
- ⑨ 水環境再生技術研究部会
- ⑩ スマート農業研究部会
- ⑪ SDGsに基づいた企業経営研究部会

研究協力会(学外)
による支援事業

愛大(学内)による支援事業

研究成果の
社会還元

産学連携スタートアップ

企業との共同研究テーマの
方向性・可能性の検討
オンタイムでのフレキシブルな
支援

産業シーズ育成

有望シーズの育成
実用化・産業化を目指す研究
を支援
単年度 40-90万円程度/件

共同研究支援

地域企業と連携した研究を
支援
共同研究開始前支援
単年度 40-90万円程度/件

テーマ創出

テーマ育成

実用化に向けた発展

社会連携
推進機構

支援

支援

支援

支援

省庁産学連携研究補助金等の活用による
本格的共同研究の実施



実用化事例1
SLEEPMEDICAL PILLOW



実用化事例2
吟醸eポーク



実用化事例3
N+ドリンクヨーグルト

共同研究（件）					受託研究(件)				総数
年度	東予	中予	南予	計	東予	中予	南予	計	
2016	28	55	2	85	4	23	6	33	118
2017	40	51	3	94	6	27	4	37	131
2018	41	57	6	104	5	27	4	36	140
2019	41	63	7	111	4	24	10	38	149

愛媛県内産学連携実績（第3期中期計画期間）

産学官共同研究によって誕生した製品例



N+ドリンクヨーグルト SLEEPMEDICAL PILLOW 吟醸eポーク

産学連携への取り組み活動

大学法人の現状

指定国立大学法人は任意の株式会社の設立が可能(国立大学法人は技術移転機能を目的とした会社(TLO)のみ設立可能)



指定国立大学法人以外の大学は会社への投資活動等はいできない。

例) 指定国立大学法人の場合

東京大学: (株)東京大学エッジキャピタル、(株)東京大学エクステンション

京都大学: (株)京都オリジナル、(株)京都大学イノベーションキャピタル

例) 非指定国立大学法人の場合

神戸大学: 一般社団法人 神戸科学技術アントレプレナーシップ基金

出資 → (株)科学技術アントレプレナーシップ(大学外部の別会社)

徳島大学: 産学連携キャピタルとして「産学連携1号投資事業有限責任組合」を設立

愛媛大学の取り組み

共同研究案件による成功例はあるが、大学独自のシーズを育成し、そのシーズをもとにベンチャー企業を設立して、株式配当を大学に還元するプロセスの成功例がなかった。

愛媛大学兼業規程

愛媛大学における大学発ベンチャーの認定に関する規程

大学教員が大学発ベンチャーの代表取締役社長になれる。

学内でベンチャー企業と登記・設立・運営が可能。

四国からアントレプレナーを生み出すためには

愛媛大学の取り組み

えひめ学生起業塾



脱常識へ

Since 2020



BLOCK 71はNUSが運営するNUSエンタープライズと民間企業、ベンチャーキャピタルによって提供された、共同スペースである。2011年に開設。

米国(サンフランシスコ)、インドネシア(ジャカルタ)、中国(蘇州)にも開設されている。



NUSの教員、学生、卒業生による起業支援を行う拠点。

かつて、この建物はエレクトロニクスや精密機械など中小の製造業が入っていた。それを、安い家賃でインキュベーション施設に転換した。

Block71には250社以上のスタートアップと30社以上のアクセラレータやベンチャーキャピタルが入居している。

ベンチャー企業のインキュベーション施設であるが、すでに満室状態で、隣接する「ブロック73」「ブロック79」も同様のスタートアップ入居施設に転換されている。



人的なネットワークを構築するために、各種イベントを開催し、その後には必ずパーティーなどの交流会を開いている。

パソコンに向かっている学生が多いのでIT系企業中心だと思われる。装置試作や化学実験ができる共同実験室も別途設けられている。

学生が楽しそう。活気がある。
放課後の部活のイメージです。



学生の資金相談に乗ってくれるコーディネーターが存在している。
フードコートやスポーツ施設も完備されている。





宇都宮大学版のオープンイノベーションを具現化した施設。(平成29年9月完成)

インキュベーション室を併設することにより、オープンと秘密保持契約の問題解決

農業とユニークなロボット技術の融合

企業と大学との共同研究を実施。



2階建て。屋上には太陽光パネルや屋上緑化スペース。

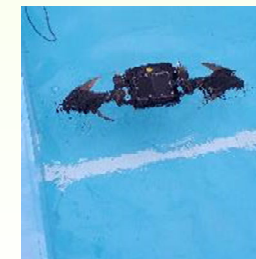
建物内はロボットが移動することを想定。

周辺には、水中ロボット実験用のプールもある。

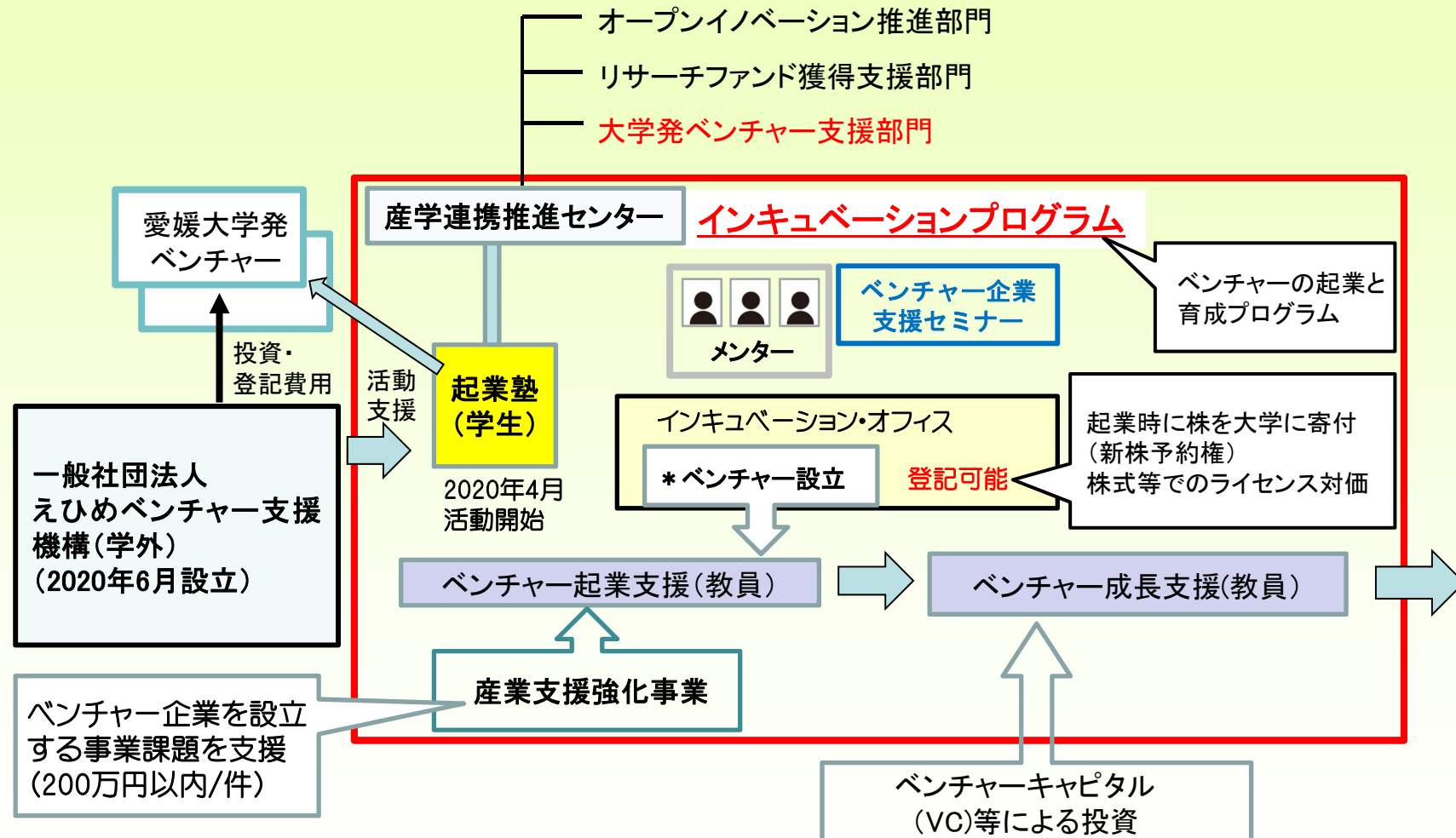
1階は3Dプリンターをはじめとする、工作機器が設置されており、学生や同居企業は自由に試作機などを作れる環境である。いわゆる共同実験室である。

学生が楽しそう。活気がある。

放課後の部活のイメージである。シンガポールのBlock71の宇都宮大学版である。



インキュベーションプログラム



地域産業イノベーション戦略の1つとして、大学発ベンチャー企業を創出していく。

* 2019年4月：兼業規定を改訂：代表取締役役に就任可

2020年10月：「国立大学法人愛媛大学における大学発ベンチャー認定に関する規程」を制定

オプティウム・バイオテクノロジーズ

OPTIUM
BIOTECHNOLOGIES



愛媛大学
EHIME UNIVERSITY

愛媛大発ベンチャーとしては初めて
医学部に拠点を置き、令和2年6月30日に設立

令和2年7月9日
愛媛大学
オプティウム・バイオテクノロジーズ株式会社

愛媛大学発バイオベンチャー

「オプティウム・バイオテクノロジーズ株式会社」創業のお知らせ ～次世代抗体作製技術を駆使して、難治性疾患の新たな治療薬開発に挑む～

このたび、がんをはじめとした難治性疾患に対する新たな抗体医薬品の開発を目指して、愛媛大学発バイオベンチャー「オプティウム・バイオテクノロジーズ株式会社（所在地：愛媛県東温市、代表取締役：西岡駿）」を2020年6月30日に創業したことをお知らせいたします。

オプティウム・バイオテクノロジーズ株式会社の創業科学者である越智俊元特任講師、竹中克斗教授、山下政克教授、愛媛県立医療技術大学 安川正貴学長のグループは、遺伝子改変技術を応用し、免疫治療効果の高い抗体を効率よく作製できる**新技術「Eumbody System™」を開発**しました。同技術を活用して、アカデミアや製薬企業との連携を通して創薬支援事業および独自の医薬品開発を推進し、がんをはじめとした様々な**難治性疾患に対する抗体医薬品開発**に努めて参ります。

なお、本事業は、「愛媛大学学長特別強化経費事業」（平成30年度）のうち、ベンチャー企業の事業化を目的とした「産業支援強化事業」に採択され、予算配分を受けたものです。



愛媛産のサメを使って抗体を創る技術
（プロテオサイエンスセンター
竹田 浩之准教授らによる企業化に向けた活動）



愛媛大学発 ベンチャー企業 一覧

令和3年10月1日現在

企業名	概要	設立
株式会社 セルフリーサイエンス	無細胞蛋白質合成試薬事業、 分子間相互作用標的創薬支援事業	2002年7月
株式会社 シーズテック	PCB、ダイオキシン等の微量分析の研究開発	2007年6月
株式会社 愛南リベラシオ	養殖用飼料の開発・製造・販売	2012年2月
株式会社 VEQTA	動物のDNA解析及び病態モデル動物受託試験	2014年2月
PLANT DATA 株式会社	農業事業者向けのデータ基盤、 クラウド、計測IoTの開発とサービス提供	2014年9月
株式会社 アイジーン	プラズマ方式分子導入装置の開発～製造販売	2016年2月
株式会社 環境・エネルギー技術研究所	環境・エネルギー等に関する研究開発及び コンサルティング	2018年5月
オプティアム・バイオテクノロジーズ 株式会社	医薬品の研究開発、製造、販売及び輸出入	2020年6月

一般社団法人えひめベンチャー支援機構

<https://www.ehime-startupclub.jp/>

一般社団法人の運営資金は、
当面、民間からの寄附で運営

民間 寄付

〔収益事業の例〕

- (1) ベンチャー支援
- (2) 大学等の設備の活用支援
- (3) クラウドファンディング
- (4) 人材派遣
- (5) 成果物の販売
- (6) セミナーの開催
- (7) コンサルティング等

ベンチャー設立・運用を支援する外部機関

- ◆大学発ベンチャーに投資が可能
- ◆一般社団法人が利益を上げ、社会に還元

支援

理事

外部理事2名含む

株式

投資
登記費用



教
員

助言・相談

メンター

助言・相談

起業部
(学生)

聴講

聴講

支援

ベンチャー
支援セミナー

GAPファンド
(産業強化支援事業)



愛媛大学

EHIME UNIVERSITY

愛媛大学 起業塾創設 部員募集中



ベンチャー企業や会社設立に興味がある学生集合！！
起業という選択肢もある。起業に挑戦する学生を求む！
起業塾は会社を起業します。
起業して独立するもよし、起業経験を武器に就活するもよし。



株式会社B-and-A(11月13日設立登記)
代表取締役 新居総一郎 工学部3年生(当時)



サイボウズ松山オフィス



えひめ学生
起業塾

産学連携推進センターの準正課活動として、学生起業塾を設置

<https://www.ehime-startupclub.jp/>

4月 > 5月 > 6月 > 7月 > 8月 > 9月 > 10月 > 11月 > 12月 > 1月 > 2月 > 3月

企業知識・スキル習得

起業プラン策定

ビジネスコンテストで優秀な成績（令和2年度）

コンテスト名	受賞名	氏名	所属	テーマ
cvg2020全国大会	MIT賞	徳永 聡	理工学研究科D1	えひめのサメで抗体を創るプラットフォーム
cvg2020全国大会	最優秀賞	徳永 聡	理工学研究科D1	えひめのサメで抗体を創るプラットフォーム
cvg2020全国大会	優秀賞	多賀谷直樹	社会共創学部2年	フィッシュレザーを中心とした地場産業への貢献とSDGsを達成する社会の実現
EGFビジネスアワード	最優秀賞	野口 夏希	工学部2年	子供向けお菓子作りキットの提案～地域の素材&動画レシピを使って幼稚園児でも一人で作れるようになる～
EGFビジネスアワード	三浦工業賞	多賀谷直樹	社会共創学部2年	フィッシュレザーを中心とした地場産業への貢献とSDGsを達成する社会の実現
EGFビジネスアワード	愛媛新聞社賞	門本 玄	農学部2年	まつやま宅配×ジビエプロジェクト

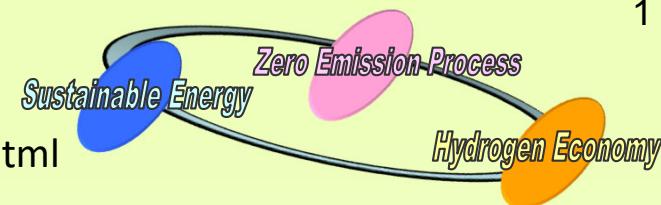
サイボウズ松山オフィスにて、
専門家による講義

四国地域・全国のビジネス
プランコンテストに参加

起業に向けての活動



愛媛大学
EHIME UNIVERSITY



<http://www.me.ehime-u.ac.jp/labo/kikaiene/netubutu/english/index.html>

Mission

To promote the development of a society based on **sustainable energy** structure

Our **heat and mass transfer Laboratory** aims at building a sustainable energy society and is carrying out research into zero-emission processes, such as the development of renewable energy sources including solar, wind and tidal power and the utilization of waste materials as energy sources, which do zero harm to our environment.



Academic Advisers

Prof. **Shinfuku Nomura**

Dr. **Shinobu Mukasa**

Dr. **Jyunichi Nakajima**



Key Word in our Lab. is

“Scholar and Athlete”.